

一条通病院	旭川市東光1条1丁目	34-2111
旭川医院	旭川市神楽3条4丁目	61-1117
旭川北医院	旭川市大町2条14丁目	53-2111
宗谷医院	稚内市末広3丁目(稚)	24-1117
ながやま医院	旭川市永山5条11丁目	46-2211
一条クリニック	旭川市東光1条1丁目	34-1136
かたくりの郷(老健)	旭川市神楽3条4丁目	63-1165
東光ぬくもりポート	旭川市東光1条1丁目	34-2917
一条ケアセンター	旭川市東光1条1丁目	31-1152
宗谷さわやかポート	稚内市末広3丁目(稚)	24-2223

道北の医療

2017年3月1日
第491号
 発行所
道北勤労者医療協会
 〒078-8341 旭川市東光1条1丁目
 TEL 0166-33-1117
 FAX 0166-32-6925
 E-Mail tomonokai@dohoku-kinikyoo.or.jp
 発行者 八重樫典生

大腸がんを早期発見

検診キット配布を検討

第3回友の会
代表者会議



友の会代表者会議で提案する友の会連合会清水建夫事務局次長(中央)

道北勤医協友の会連合会(以下、友の会連合会)は、会員の健康を守る立場から「大腸がん検診」の受検を広げる取り組みを計画しています。

具体的行動案としては、十勝勤医協や道東勤医協ですでに取り組まれている「大腸がん検診キット」の友の会員さんへの配布を検討しています。

友の会連合会幹事会で数カ月に渡り議論を重ね、各友の会が集う代表者会議に実施案を提案しました。

昨年6月の友の会連合会総会で十勝勤医協友の会事務局次長が大腸がん検診キット配布の経験について講演を行いました。十勝では10年間、友の会員への配布を続けており、2015年度は約1万8千人の会員に配布し、約5千人の受検につながりました。その結果323人の便潜血陽性を発見、そのうち10人から大腸がんが発見されました。過去10年間では114人の大腸がんが見つかりました。このことから、この取り組みが大腸がんの早期発見につながる効果があることを学びました。

総会後の友の会連合会幹事会では「道北でも検診キット配布に取り組みべきではないか」との声があがり、実施について

厳寒の旭川で

ホームレス生活

ホームレス実態調査報告

1月27日早朝、旭川市福祉保険部と道北勤医協の加盟する旭川・上川社会保障推進協議会(以下、社保協)が合同で、ホームレス生活実態調査を旭川駅構内、神楽の道の駅で行ないました。

早朝の駅構内には数名のホームレスの方が目立たない場所で横になって休まれています。声をかけた一人は「夜中は街中を歩き、疲れたらバス停で休む。早朝に駅が開くと戻って来て横になる」と話されました。緊急の保護が必要とする方ではなかったため、社保協の名刺を渡して困った時は連絡するようお願いしました。

次に訪れた道の駅では、車中泊をしていると思われる方がおり、声をかけましたが返事はありませ

求め運動につながってほしいか」などの意見が出されました。最終的に大腸がん検診を広める取り組みについて実施する方向で意見が一致し、広報宣伝と大腸がん検診の学習を友の会の集まり等で進めることが全体確認されました。



駅構内で声かけする道北勤医協職員



11月の米大統領選挙でのトランプ勝利には「この国、世界はどうなるのか？」の不安が

走った▼さらに1月、米大統領に就任したトランプの「大統領令」乱発は、世界を再び驚かした。「オバマケアの見直し」「TPP離脱」「メキシコ国境に壁」「イスラム教7カ国とシリア難民の入国規制」など。入国直前のイスラム教徒の拘束や送還などが相次いだ▼「地球温暖化対策パリ協定」でも問題。パリ協定の離脱は正式表明していないが、カナダからの石油パイプラインや国内パイプラインの建設を進める大統領令を出し、「温暖化は起こりえない」などと言った。化石燃料を使用しないの「パリ協定を踏みにじるもの」▼中東7カ国の移民やシリア難民の入国規制は、アメリカ各地で反対運動が広がり、世界各国の政府からも批判の談話が出された。米連邦地裁が「大統領令の差止め」を出し入国が再開され、アメリカで目の手術予定の子どもを抱えた母親の安堵の姿もあつた▼このトランプ政権の動きに一言も意見しない日本の安倍内閣。アメリカ追従の政治でなく、国民の声を大切にす

窓口一部負担の無料・低額

就学援助世帯も対象です

新入学を迎える季節が近づいています。

旭川市が2月7日発表した2017年度予算案では、子どもの貧困対策や育児支援、就学助成に新たな予算も計上され、子どもに関する支援が拡充されています。

しかし、医療費に関して外来一部負担は小学生1割、中学生3割負担のままとなっており、家計への負担は解消されていません。旭川市では児童全体の約4人に

1人が就学援助を受けており、子育て世帯は無料低額診療制度の対象世帯である可能性があります。

この制度は世帯全員が対象となりますので、医療費でお困りの場合は遠慮なくご相談ください。

お問い合わせは下記まで、案内は道北勤医協ホームページ(道北勤医協で検索してください)でもご覧いただけます。

一条通病院・一条クリニック

無料低額診療制度

無料低額診療制度が適用されると、一条通病院、一条クリニックの内科、整形外科、小児科の窓口一部負担が無料、又は低額になります。薬代も旭川市、東神楽町、東川町の公的助成制度利用で無料になります。お子さんはもちろん、お父さんやお母さんの健康を守るために、ぜひ制度をご利用ください。

●利用のご相談は、一条通病院、一条クリニックの受付窓口でお申し出頂るか、お電話でも承ります。まずはご相談ください。

一条通病院
☎ 34-2111

道北勤医協初代理事長

萩原信宏医師退職のお知らせ

道北勤医協を創立し、42年にわたり民主的医療運動を担ってきた萩原信宏医師が3月31日をもって、道北勤医協を退職することになりました。

萩原医師は1967年（昭和42）北海道大学医学部を卒業し、北海道勤医協に入職。北海道勤医協第一次五カ年計画の「道内中核都市に経営体の異なる民主診療所を建設する」という方針の下で「道北に民主的医療運動の拠点をづくり、医療変革を進めていきたい」という熱い思いをもって名を上げ、1975年（昭和50）7月16日、道北勤医協を設立し理事長就任。同年11月17日旭川市神楽に旭川医院を開院しました。

慢性的な医師不足による医療過疎状態で、住民は常にいのちと健康に不安をもちながら生活していました。その中で道北勤医協創立は「誰もが、どこでも、親切でよい医療を受けたい」という道北の人々の要求と期待を一身に受けたものでした。

開院当時35歳の萩原医師は院長として先頭に立ち、人間の尊厳を守り、ヒューマニズムに徹する診療を基調とする高い志をもって多くの信頼と実績を積み重ねました。

「民衆に支えられ、民衆とともに、民衆のための医療をめざす」。萩原医師から学んだ志と理念はこれからも道北勤医協に受け継がれていきます。

1975年7月	道北勤医協設立、理事長就任
同年11月	神楽に旭川医院開院、院長就任
1978年11月	豊岡に一条通医院開院、院長就任
同年12月	道北勤医協医療法人認可
1979年12月	一条通病院開院、院長就任
1991年4月	北海道議会議員初当選、3期12年務める
1991年5月	一条通病院名誉院長就任
2000年3月	定年退職、嘱託医として勤務
2004年5月	ながやま医院院長
2008年7月	旭川医院院長



萩原信宏医師より退職のごあいさつ

今後引き継ぎ

本年3月31日をもって、道北勤医協を去ることになりました。四十二年間、ありがとうございました。

1975年に道北勤医協を創り、友の会のみならず、運動が力を合わせて連携し、社会を良くする大きな市民運動に広がることを期待しています。

今後引き継ぎ、引き続き道北勤医協に対するご支持をお願いします。長期間、ありがとうございました。



道北勤医協理事長 鈴木 和仁

創立以来42年にわたって道北勤医協を牽引してこられた、萩原信宏先生が退職されることとなりました。

旭川で初めての夜間診療や訪問看護の導入、さらに地域での健康づくりを担う「友の会」の構築は、その後全国各地の民医連に拡がりました。「道北の医療変革めざし、歩み大きく」として始まった道北勤医協の挑戦は、「無差別平等の医療・介護の実践」として現在に引き継がれています。

これまで萩原先生の御奮闘に感謝申し上げます。同時に、「地域の人々に支えられながら、地域の人々の命と健康を守る」活動に全力を尽くす決意を述べて、お礼の言葉と致します。



道北勤医協友の会連合会 会長 上ヶ嶋 哲雄

1975年、道北勤医協は13人のスタッフと76人の応援団で始まりました。それから42年。初代理事長の萩原信宏先生が退職されます。改めて「明日を拓く道北の医療変革めざして5年」を読む。現在500人を超える職員と34500人の友の会。志半ばで亡くなった方をはじめ、多くの先人たちの苦労と努力に敬意を表します。萩原先生たちが築き上げてきた「無差別平等・非営利協同」の思想は今後も引き継がれます。

萩原先生、長い間ありがとうございました。先生の今後のご健康を願って感謝の辞とします。

医師体制のお知らせ

退職（3月31日付）

旭川医院

萩原 信宏

ながやま医院

中川 直子

宗谷医院

松元 献（研修終了）

管理者交代

ながやま医院（1/27付）

院長 長百瀬 浩

（一条通病院副院長兼務）

宗谷医院（4/1付）

副院長 熊田 肇

（かたくりの郷（4/1付）

施設長 杉森真由美

副施設長 佐久間文字

（旭川医院院長兼務）

シリーズ どうなる 介護保険（下）

今年4月から全国各地で介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）が開始されます。これは介護保険の要支援1・2の方を対象とした予防給付サービスのうち、訪問介護と通所介護（デイサービス）を介護保険の給付から外し、市町村が行う総合事業に移管するものです。

介護予防・日常生活支援総合事業

今年4月から全国各地で介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）が開始されます。これは介護保険の要支援1・2の方を対象とした予防給付サービスのうち、訪問介護と通所介護（デイサービス）を介護保険の給付から外し、市町村が行う総合事業に移管するものです。

また、①要支援の認定者で有効期間が満了となり、要支援再認定を受けずに総合事業の利用を希望される場合、②要介護認定が非該当となった場合でも新たに「基本チェックリスト」による判定で生活機能の低下が確認された方は、総合事業で提供される訪問・通所介護が受けられます。新規サービス利用希望の方は今まで通り要介護の方は今まで通り要介護

認定を受けることになり、その後危険されるのはサービス内容低下と利用料負担増

総合事業は各市町村事業として運営されるため、財政状況次第で内容、利用料の見直し、サービス事業所への報酬の引き下げ等事業そのものが縮小・継続困難になることが懸念されています。

また、サービス提供場の確保など都市と地方で格差が生じる可能性もあります。

利用者の不利益が生じないよう、総合事業の今後の動向に注目が必要です。

一条通病院・各診療所の新年会 楽しく交流すすむ



一条通病院 1月28日(土)253人



旭川医院 1月22日(日)84人

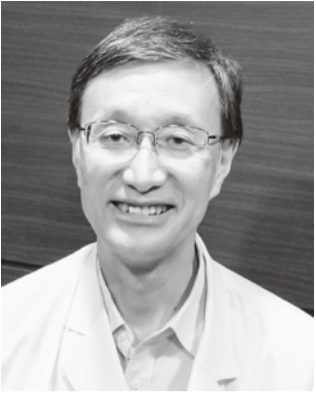


旭川北医院 1月29日(日)57人



ながやま医院 2月5日(日)58人

シリーズ みんなの医療講座



高血圧症や糖尿病、脂質異常症といった慢性疾患をお持ちの方で、医師や看護師に定期検査を受けるように言われた方はいませんか。

血圧は毎回測っているのに、血糖も毎回検査しているのに、今さら定期検査？あるいは毎年職場の健康診断を受けているのでわざわざ受けなくてもいいでしょ？とお考えになるかもしれません。

合併症を予防して健康で元気に生活

そもそも高血圧症や糖尿病、脂質異常症の治療は何のためにやっているのでしょうか。血圧を下げるため、血糖を下げるため、コレステロールを下げるため。その目的は、その先にあるのです。病気によって引き起こされる

合併症を予防して健康で元気に生活する、すなわち健康寿命を延ばすことが目的です。

高血圧症の合併症は、脳出血や脳梗塞などの脳血管疾患、狭心症や心筋梗塞、うっ血性心不全、腎硬化症から慢性腎不全などがあげられます。

糖尿病の合併症は網膜症、腎症、神経障害といった糖尿病に特有な三大合併症や心筋梗塞、脳梗塞、末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症）などの動脈硬化性疾患があり、それぞれ失明や尿毒症による人工透析、下肢切断、半身不随などの原因となりうるものです。

合併症の早期発見に重要な定期検査

それらの合併症にならないように、またなってもそれ以上進行させないために血圧や血糖をコントロールするのが、合併症を早期発見

慢性疾患の定期検査

一条クリニック院長 仲谷 了

して早期に対応することとはとても大切なことです。これらの合併症は症状がそのまま進行してしまいうことが多いため定期的な検査が必要です。

胸部レントゲンや心電図は年単位で徐々に変化することがありますし、症状が出た時に以前のレントゲンフィルムの陰影や心電図の波形と比較することが診断上の決め手となることもあります。

また、蛋白尿や腎機能なども早期に発見して薬を調整するなどの対策で、腎不全への進行を遅らせることも可能です。

一方、これらの慢性疾患は相互に関連することが多く、糖尿病と高血圧症、脂質異常症を同時に持つ人は少なくありません。複数の病気を持つ人は合併症の発症・進展の確率がさらに高くなります。ですからたとえば高血圧症では、腎臓の検査や心臓の検査だけではなく、血糖やコレステロールも定期的に測定していくことが必要です。

それらの合併症にならないように、またなってもそれ以上進行させないために血圧や血糖をコントロールするのが、合併症を早期発見

とここで、職場の健康診断を受けているから、あるいは特定健診を受けているからといって安心されている方もおられますが、これらの健診は基本的に高血圧症や糖尿病などの早期発見のための検査です。そのため検査項目も絞られていますし、症状が起こった時の

比較はもちろん経年的な比較もできません。さらに、薬を使っているときの副作用の確認などもできません。

慢性疾患をしつかり管理治療していくためには定期的に通院している医療機関で病気に対応する定期検査が必要です。

なお、病気や病状の進行程度によって、定期検査の頻度は異なります。合併症のない高血圧症では年に1〜2回程度、脂質異常症では3〜4カ月に1回程度は必要でしょう。

わたしたち医療側も気が付けてみていきますが、しばらく定期検査を受けられていないことに気付かれたら患者さんの方から私たちに声をかけていただきたいと思います。

定期的な検査を受けることで、病気の進行を遅らせることも可能です。

定期的な検査を受けることで、病気の進行を遅らせることも可能です。

いつでも元気

2017 3月号 380円

好評発売中

巻頭エッセイ/費用と需要 インフラと医療 和山 隆一

特集 災害と民医連

広がり始めた「こども食卓」の輪 大分

ひんごの歌 健康で働くために 岡田 崇順

医者のチカラ 三重県御浜町

賞と健康 減塩

発行：北海道医療センター 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 印刷：印刷センター印刷 電話：03(5842)5656(代) FAX：03(5842)5657

定期検査を忘れず受けましょう

わたしたち医療側も気が付けてみていきますが、しばらく定期検査を受けられていないことに気付かれたら患者さんの方から私たちに声をかけていただきたいと思います。

比較はもちろん経年的な比較もできません。さらに、薬を使っているときの副作用の確認などもできません。

慢性疾患をしつかり管理治療していくためには定期的に通院している医療機関で病気に対応する定期検査が必要です。

なお、病気や病状の進行程度によって、定期検査の頻度は異なります。合併症のない高血圧症では年に1〜2回程度、脂質異常症では3〜4カ月に1回程度は必要でしょう。

わたしたち医療側も気が付けてみていきますが、しばらく定期検査を受けられていないことに気付かれたら患者さんの方から私たちに声をかけていただきたいと思います。



友の会無料法律相談のお知らせ

3月22日(水)、午後2時から「あかつき法律事務所」の畑地雅之弁護士がご相談をお受けします。

※予約制です(担当者が事前に相談内容をお聞きしますが、秘密は厳守いたします)。

連絡先 330854 (友の会連合会)

本人が判断不十分な場合の支援 「成年後見人制度」

Aさん家族だけでは見通しが立てられず、娘さんに関する障害者関係の支援員や地域包括支援センター職員、施設職員等の関係者が集まり、話し合うことになりました。その結果、「成年後見人制度」を活用することになりました。

成年後見人制度とは、①家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等(成年後見人・補佐人・補助人)による「法廷後見制度」②本人が契約の締結

自分の不利益にならないように後見人の協力を得て、生活の場の決定や金銭管理などを行っていくことになりました。

今後身寄りのない方や、認知症になり判断ができなくなる方は増えてくる状況にあると思います。そんな中でも生活環境と財産を守ってもらえるこの制度の活用は有効だと思えます。

ご興味のある方は地域包括支援センターか担当のケアマネージャーに一度相談してみたいかがでしょうか。

宗谷医院居宅介護支援事業所 五十嵐巨森

きらり☆ナース 患者さんの笑顔が嬉しい

一条クリニック 大平 ありさ

一条クリニックに配属されてから、半年が経過しました。その前は病棟勤務で、外来への配属は不安でいっぱいでした。外来勤務は仕事を覚えるだけではなく、応用力が必要であり日々大変です

が、不安が軽減する出来事もたくさんありました。

その一つは、今まで病棟で出会った患者さんがご家族とともに元気に通院されている様子を見たことです。中には私の顔を覚えていてくれ、声をかけてくれる患者さんもありました。

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。

「成年後見人制度」

必要な判断能力を持っていない時に自分で選んだ人を後見人にする「任意後見制度」の2タイプがあります。

Aさんは認知症が進行していたため①の法廷後見制度の手続きを行い、

「成年後見人制度」

必要な判断能力を持っていない時に自分で選んだ人を後見人にする「任意後見制度」の2タイプがあります。

Aさんは認知症が進行していたため①の法廷後見制度の手続きを行い、

「成年後見人制度」

必要な判断能力を持っていない時に自分で選んだ人を後見人にする「任意後見制度」の2タイプがあります。

Aさんは認知症が進行していたため①の法廷後見制度の手続きを行い、

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。

から患者さんの病態が改善し、本人の頑張りや笑顔を見て、なんだか私も嬉しくなります。

患者さんが笑顔で来院されるのが私の元気づけにつながっています。

たくさんの出会いに感謝し、先輩方のような看護を提供できるように、これからも日々精進していきます。



友の会 だより

各地からのトピックス

手作りカレーで交流

東光友の会元気会



みんなでカレーに舌鼓

毎月2回、地域の高齢者が集まる東光元気会。2月7日は18人が参加し、友の会役員さんが腕によりをかけた作ったビーフカレーが昼食にふるまわれ、交流しました。消化の良さを考え作られた具材は柔らかく煮込まれ、牛肉は口に入れる

とホロホロとろけます。「大勢で食べるおいしい」と会話をしながらの食事は昔話も弾み、笑顔があふれました。

健康と感謝の取り組み

美瑛友の会



看護師の健康講座（長寿会）

老人クラブの集まりでは、2月6日の下宇莫別福寿会21人、2月8日の中央長栄会15人が参加し、健康チェックや健康ミニ講座、ふまねつとを行いました。



パークゴルフ楽しむ(配布人懇親会)

2月9日は道北の医療の配布世話人への慰労として、美瑛町白金温泉の大雪山青年の家で懇親会を

行い、15人が参加しました。山田富雄会長が挨拶の中で日頃の配布活動の労をねぎらい、感謝の言葉を述べました。楽しい企画が好評でした。

社会情勢を学び考える会

比布友の会

2月4日、比布友の会は遠藤春子事務局長宅で年金・社会保障学習会を開催し、15人が参加しました。

道北勤医協本部の廣岡良典事務課長を講師に年金、社会保障、介護など



講義に聞き入る参加者

の情勢を学びました。参加者からは「年金が知らないうちに1万円も下がっていた。どうしてなのかの情報が伝わってこない」と怒りの声があがっていました。



「道北の医療」の配布世話人さんからの声

旭市 阿部 達也さん

昨年からの配布しています。少しですがお役に立てればと思います。

青町 泉 淑江さん

毎月元気にダイエットを兼ねて歩いて道北の医療を配布しています。冬期間は滑って転ばないように注意しています。

穂市 久保田知子さん

1月の稚内の天気予報は毎日雲と雪ダルマが並びましたが、ツルツル道路にはならず道北の医療の配布にも助かりました。

旭市 山田 静子さん

部数は少ないけれど道北の医療を配布していま

「道北の医療」を配布していただけませんか

毎月1回の配布です。近所周りの数部でも結構です。配布可能な方は友の会役員さんや職員、各院所受付にお申し出頂るか、道北勤医協友の会連合会(電話33・1117)までご連絡をお願いします。健康づくりにご協力ください。

読者のみなさまへ

読者のひろばコーナーでは、本紙記事のご感想やご意見などはもちろん、みなさまの日常の出来事などのご投稿をお待ちしています。クロスワードパズルの応募と一緒にどうぞ。また絵手紙も大歓迎です。掲載させていただいた方には図書カードをお送りします。(編集部)

健康教室がんばります

旭市 長谷 淳子さん

旭川医院の健康教室にできるだけ休まず参加しようと考えています。一人だとなかなかできないことも、仲間と一緒になら続けられます。まずは今年一年頑張ってみます。

おいしい料理を娘と

旭市 金子ヒデ子さん

97歳になりましたが、まだ独り暮らしをしています。二人の娘が心配して毎日来てくれて、食事を共にしています。「お母さんの料理がとてもお

JR路線の維持が必要

旭市 山下 和子さん

道北住民の医療を守るにはローカル線の維持が必要だと思います。JRの便を維持することで移動手段のない地方の高齢者が通院できるのです。

躍っています

普段は家で手芸や読書をして過ごすインドア派。特に友人たちと展示会を開くほどの腕前の縫物や編み物は、手芸の本を読んでの独学で腕を磨いたそうです。



北星友の会 池田洋子さん

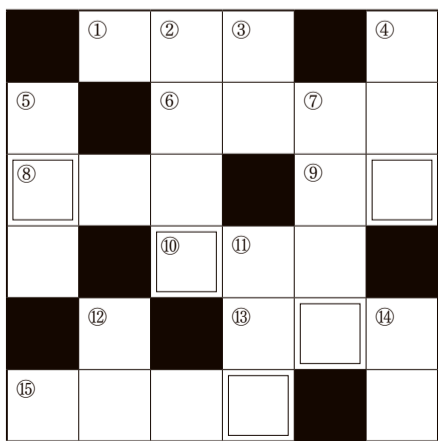
「道北の医療」宅配しています

友の会の仲間を広げたい

北星友の会役員を務める池田さん。20年前に友

人から誘われるがままに友の会に入会しました。その後、当時活動休止状態だった北星友の会の再開時に役員になってほしいと声がかかり、それ以降中心メンバーとして活

クロスワードパズル 335



ヨコのかぎ

- ①〇〇〇〇慣習。
- ⑥誘い水や迎え水のこと。
- ⑧うわさや流行などの出どころ。
- ⑨今日から数えて5日目。〇〇明後日。
- ⑩豊洲に移転予定の〇〇〇市場。
- ⑬「小忠実」の読み方。
- ⑮「寄居虫」の読み方。

タテのかぎ

- ②〇〇〇〇〇〇猛進。
- ③〇〇〇餅。〇〇団子。
- ④春の七草のひとつ。
- ⑤東京都練馬区にある〇〇〇〇美術館。
- ⑦世界文化遺産の厳島神社がある島は？
- ⑪イソップの寓話「金の斧、銀の斧」に出てくる主人公の職業。
- ⑫武将豊臣秀吉の側室の名。〇〇〇君。
- ⑭〇〇〇〇〇〇許。

応募方法

2重マスの字をくみあわせて、あることば(ヒント参照)をつくってください。

答えは、ハガキか、各院所にある「応募用紙」に、お名前、住所を記入のうえ応募ください。Eメールでも応募できます (tomonokai@dnok

クロスワードパズル1月号解答



◆当選者(敬称略) 五十嵐広平、伊藤晴夫、岩城憲一郎、澤田奈津子、田辺君代、中村知子、松川美智子、丸山達法、森定守(以上旭川市) 小平一郎(名寄市) 棟方妙子(富良野市) 佐藤恭子、澤村精子、高田富士夫、俵谷芳昭、細田史子、吉川勝(以上稚内市) 宮川タミ(遠別町) 前田千慧(札幌市) 長谷川ツキ(岩見沢市)

女の子の健やかな成長を祈ります